

平成25年度学校評価シート（重点課題2 公の場での意見表出）

重点課題	公の場での意見表出	P																												
具体目標	・県学習状況調査の質問紙調査において、「意見表出」に関連した質問項目が県平均を上回る。																													
現 状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「分からない時やもっと知りたいとき質問することが苦手」と答える児童の割合 ⇒ (H24 : 4.6 %、H23 : 17.1 %)</li> <li>・「自分の考えを他の人に説明することが苦手」と答える児童の割合 ⇒ (H24 : 6.9 %、H23 : 19.3 %)</li> </ul>																													
目標達成のための方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・心開かれたあいさつの励行</li> <li>・根拠をもとにした、自分の意見・考えの表出</li> </ul>																													
具体的な取組	<p>①心開かれたあいさつの励行</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「あいさつ+ワン」運動の実施</li> <li>・あいさつポスター、あいさつのぼり旗等作成</li> <li>・「よい子の落書きバス」での地域へのあいさつ運動周知</li> <li>・3校合同修学旅行での「太田のお宝」PR活動</li> </ul> <p>②根拠をもとに、自分の意見や考えを述べる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活・総合におけるアウトプット型（発信型）授業スタイルの充実深化 ⇒ 「太田のお宝」発信</li> <li>・ペア・グループ・全体で意見交換・討論 → パネルディスカッション・ディベート</li> <li>・修学旅行先での職場体験・被災地でのボランティア体験</li> <li>・学習発表会での全校群読</li> <li>・被災地支援に係る太田中学生徒会と3小学校児童会の「太田子ども会議」開催</li> <li>・卒業式で将来の夢・目標の発表</li> </ul>	D																												
達成状況	<p>1 H25 県学習状況調査結果</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>授業で自分の考えを発表する機会がよくある</p> <table border="1"> <caption>授業で自分の考えを発表する機会がよくある</caption> <thead> <tr> <th>地域</th> <th>割合 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>秋田県</td> <td>80.0</td> </tr> <tr> <td>太田南小</td> <td>95.0</td> </tr> </tbody> </table> </div> <div style="text-align: center;"> <p>学級の友達との間で話し合う活動をよく行っている</p> <table border="1"> <caption>学級の友達との間で話し合う活動をよく行っている</caption> <thead> <tr> <th>地域</th> <th>割合 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>秋田県</td> <td>90.0</td> </tr> <tr> <td>太田南小</td> <td>95.0</td> </tr> </tbody> </table> </div> </div> <p>参考 全国学力学習状況調査から</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>近所の人にあいさつをする</p> <table border="1"> <caption>近所の人にあいさつをする</caption> <thead> <tr> <th>地域</th> <th>割合 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全国</td> <td>65.0</td> </tr> <tr> <td>秋田県</td> <td>75.0</td> </tr> <tr> <td>太田南小</td> <td>85.0</td> </tr> </tbody> </table> </div> <div style="text-align: center;"> <p>自分の考えを説明したり書いたりするのは難しい</p> <table border="1"> <caption>自分の考えを説明したり書いたりするのは難しい</caption> <thead> <tr> <th>地域</th> <th>割合 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全国</td> <td>60.0</td> </tr> <tr> <td>秋田県</td> <td>60.0</td> </tr> <tr> <td>太田南小</td> <td>58.0</td> </tr> </tbody> </table> </div> </div>		地域	割合 (%)	秋田県	80.0	太田南小	95.0	地域	割合 (%)	秋田県	90.0	太田南小	95.0	地域	割合 (%)	全国	65.0	秋田県	75.0	太田南小	85.0	地域	割合 (%)	全国	60.0	秋田県	60.0	太田南小	58.0
地域	割合 (%)																													
秋田県	80.0																													
太田南小	95.0																													
地域	割合 (%)																													
秋田県	90.0																													
太田南小	95.0																													
地域	割合 (%)																													
全国	65.0																													
秋田県	75.0																													
太田南小	85.0																													
地域	割合 (%)																													
全国	60.0																													
秋田県	60.0																													
太田南小	58.0																													

<p>教職員による自己評価</p>	<p>B</p>	<p>(根拠)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペア学習、グループ学習を取り入れた。普段、全体で発表できない子も意欲的に話し合うことができた。しかし、意見交換や討論（パネルディスカッション・ディベート等）の指導については、学校全体の共通理解が必要。</li> <li>・自分一人では読み取る力が小さくても、ペアやグループなど友だちとの意見交換で、以前より自分の考えをもてるようになったが、他教科に生かす工夫が必要。</li> <li>・国語の授業や総合的な学習の時間で、「太田花まるパンフレット」を作り、修学旅行の職場体験の時にそれをもとにPRした。アウトプット型の授業は、学習意欲の持続に大きな効果があった。</li> <li>・音読や朗読、暗唱を、授業に意図的に取り入れた。学習発表会の全校郡読は、「公の場での意見表出」の課題解決に向かって、学校全体で取り組んでいることを、保護者や地域住民に理解していただく場になった。</li> <li>・受賞報告会や南っ子ミニ集会等で、発表の機会を増やすことができた。これらの継続により、原稿を見なくても全体の場で長く発表できるなど、全体の場での発表力が高まった。</li> <li>・あいさつは、校内ではよくなってきたが、校外での地域住民へのあいさつは、もう少し。（ただし、道路を横断したあと、止まってくれた車におじぎをするのは、本校のよい伝統。続けさせたい。）</li> </ul>	<p>C</p>
<p>C・S推進委員による学校関係者評価と意見</p>	<p>A</p>	<p>(意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちに「問いかける」授業スタイルで、話しやすい環境づくりに努めている。何回か授業参観したが、4月に比べると、発表は活発になっている。上の学年になるにつれて、あまり手を挙げなくなるものだが、4～6年も大変良く発表していた。</li> <li>・授業はもちろん、修学旅行先での職場体験や被災地でのボランティア体験、学習発表会での全校群読など、様々な機会でも人と関わり声を出すことを指導している。子どもたちには、「まなび、こころ、からだ」のバランスが重要。子どもたちの頭の中の「引き出し」を増やすために、「体験」を大事にしてほしい。</li> <li>・あいさつに限らず、家庭や地域と連携しながら子どもたちを育てていく取組は、今後も継続してほしい。現在策定中という「太田型家庭教育5か条」は、「地域全体が応援団」というスタンスを浸透させるため、太田地域に全戸配布した方がよい。</li> </ul>	<p>C</p>
<p>自己評価及び学校関係者評価に基づいた改善策</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業では、自分の考えを発表する機会を増やすために、ペア学習・グループ学習等による「学び合い」を継続する。小集団から大集団のステップを踏みながら、発表力を鍛えていきたい。</li> <li>・問題解決的な学習では、「自力解決→集団解決」の学習過程を確立し、自分の意見や考えをしっかりとめたい。また、6年生が学習成果をパンフレットにまとめ修学旅行先で発表したように、アウトプット型の授業も組み入れたい。</li> <li>・発表力の向上や言語活動の充実のために、「言葉」をテーマにした集会を企画したい。音読や言語に関する学習と関連した内容を盛り込むことによって、意見表出や考える場を広げていく。</li> <li>・授業や学習発表会、その他の集会など、あらゆる機会と場を通して「発表力・表現力」の向上に努めたい。そして、卒業式での「将来の夢」の発表を「公の場での意見表出」の集大成とする、一連の流れを確立したい。</li> </ul>	<p>A</p>

〔評価基準〕

A：具体的な活動がなされ目標を達成できた

B：具体的な活動はなされているが、目標は達成できていない

C：具体的な活動がなされておらず、目標も達成できていない